



瓊浦高等学校 学校通信 第 147 号

令和6年12月2日発行 電話 095-826-1261

FAX 095-820-5245



瓊 浦 の 窓

「響き合う力」を生み出すには

教頭 畑野 公昭

手の指を思いきりそらせて、その形で両手を打つ。叩いた手はもちろん痛くてひりひりする上、ペチッという音に響きはほぼありません。同じように力を入れた状態で小太鼓やシンバル、ティンパニーなどの打楽器を叩くと楽器は悲鳴を上げ、聴いている人にも耳障りに聞こえます。学生時代、吹奏楽部で打楽器を担当していた時分、プロの先生に、どうしたら気持ちのよい音でしっかりと楽器を鳴らすことができるか教えていただいたことがありました。その基本は力を入れるのではなく、むしろ「脱力」。試しに手をぶらぶらさせて力を抜き、そのままの状態の手をひらをややずらすようにして拍手(かしわで)を打つと、うまく行けばパンと音が鳴り、手のひらにはじんわりとした気持ちよさが残ります。この「脱力」がないと音にいい響きは生まれません。

打楽器の演奏では、脱力しながら、それぞれの楽器の響き、すなわちドンとかタンとかの「ン」をどう出すかの感性がとても大切です。打楽器で音作りが難しいのは意外にもシンバルです。噴水が勢いよく吹き上がるような華やかな響きや奈落の底に落ちるような深い響きを出すのは簡単ではありません。また、大釜をひっくり返したようなティンパニーも釜を響かせるために「脱力」を常に意識する必要があります。そのティンパニーが活躍する曲の一つに、サン＝サーンスが作曲した歌劇「サムソンとデリラ」より「バッカナール」があります。曲も終わり近く勇壮な部分は圧巻です。

11月9日(土)、東彼杵町総合文化会館で開催された県高校総文祭「郷土芸能発表大会」で、私はその「バッカナール」をはるかに凌駕(りょうが)する思いで、本校エイサー・和太鼓部の演奏を聴いていました。和太鼓の曲名は「登竜門」。鯉が「竜門」と呼ばれる急流に挑み、登りきった時に竜になるという伝説を表現した曲でした。16人のメンバーが、勢いある動きと静けさ、華やかな明るさと影といった変化のある曲想を、巧みな撥(ばち)さばきと一糸乱れぬパフォーマンスで魅了し、見事に金賞と2年連続の全国高校総文祭参加の切符を獲得しました。和太鼓には、人々を惹(ひ)きつけてやまない不思議な力があるように思います。その一つ一つの響きが、まるで「鹿(しし)おどし」の断続的な響きにあるような永続性であったり、心臓の鼓動と結びつく「生」との親和性であったり、また、何より音に「魂」を感じたりするところにあるのでしょうか。その音の「あや」と呼べるような響きを体現している演奏に拍手を送るとともに今後の活躍を期待したいと思います。

11月は、県高総体駅伝競技で男女ともに九州大会への出場を果たすとともに、県の新人戦ではバドミントン男子、ハンドボール男子、卓球、空手女子が優勝し、剣道男子、柔道男女、空手男子も上位入賞を果たした他、各部とも県や地区の新人戦等でよく健闘しました。互いが力を十分に発揮するためには、様々なことを共感したり、分かち合ったり、思いやったりするような「響き合う」関係が大切だと思います。お互いがリラックスして肩の力を抜き、相互に認め合いながらコミュニケーションを深めていけるといいですね。

球技大会

11月5日、球技大会が行われました。1学年はバスケットボール、2学年はフットサル、3学年はソフトボールと学年ごとに分かれ、クラス対抗で競技が行われました。特に3年生は、野球部が普段練習している田手原グラウンドでの開催ということもあり、初めて足を踏み入れる生徒がほとんどで、物珍しい様子で施設を見ていたようです。各学年ともに、生徒たちは楽しそうに球技を楽しんでいるようでした。

普段の授業とは全く異なる環境の中、スポーツを通じてクラスの団結力が一段と深まったのではないのでしょうか。



文化講演会

11月19日、来年度の学園創立100周年を記念したイベントの一つである文化講演会が行われました。

第1回の講演者は松尾 公則先生。先生は、長崎の生物を中心に研究しているその道の第一人者で、メディアでも「カエル先生」という愛称で親しまれている人物です。そんなカエル先生から、長崎の生物についてのお話をさせていただきました。講演には、先生が飼育しておられるカエルも連れてきており、普段あまり目にしないヒキガエルの姿に驚く生徒も多かったようです。12月には、2回目の講演会が行われます。今回の講演会をきっかけとして、普段あまり接することない分野に目を向ける良い機会となってくれればと思います。



県高校駅伝

11月5日、今年度の県高総体最後の実施種目となる駅伝大会が開催されました。当初は1日に、小浜で開催予定でしたが、生憎の悪天候、雷の影響で、5日に延期、場所も諫早競技場周りの周回コースでの開催へと変更になりました。

本校からは男女ともに参加し、ともに上位争いを演じてくれました。結果は男子が3位、女子が2位で、アベックでの九州大会への出場権を手に入れました。

男女ともに選手たちが実力を存分に発揮してくれ、惜しくも全国大会出場とはなりませんでした。しかし、「長崎に瓊浦あり」というところを見せてくれる好成績となりました。応援してくださった皆様ありがとうございました。



部活動戦績

【柔道部】

九州高等学校新人柔道大会	
男子団体	1回戦敗退
女子団体	1回戦敗退
男子個人-73kg級	
岩井 大胡 (普2D)	第3位
女子個人-48kg級	
小宗 紘奈 (普1D)	準優勝
長崎県高等学校新人体育大会	
男子団体	第3位
女子団体	第3位
男子個人-73kg級	
岩井 大湖 (普2D)	優勝
吉井 優仁 (普1D)	第3位
男子個人-100kg級	
吉井 一翔 (普2C)	第3位
女子個人-48kg級	
小宗 紘奈 (普1D)	準優勝
女子個人-52kg級	
前川 優蘭 (普1D)	第3位
女子個人-70kg級	
神毛 天葵 (普1D)	第3位



【陸上競技部】

全九州高等学校駅伝競走大会	
男子	15位
女子	20位
長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競技	
男子	第3位
女子	準優勝

【男子ハンドボール部】

長崎県高等学校新人体育大会	優勝
---------------	----

【女子ハンドボール部】

長崎県高等学校新人体育大会	2回戦敗退
---------------	-------

【男子バドミントン部】

長崎県高等学校新人体育大会	
団体戦	優勝
個人ダブルス	
草ノ瀬・増田	優勝
根本・吉次	準優勝
中井・谷川	第3位
渡邊・後藤	第3位
個人シングルス	
草ノ瀬 悠生 (普2D)	優勝
渡邊 奏介 (普2D)	準優勝
村川 翔真 (普1D)	第3位
松本 一優 (普2D)	第3位



【女子バドミントン部】

長崎県高等学校新人体育大会	
団体戦	ベスト8
個人ダブルス	
荒木・福永	ベスト16
桑原・田中	ベスト16
個人シングルス	
荒木 瑠美 (普2A)	ベスト16
福永 栞 (普2D)	ベスト16

【空手道部】

長崎県高等学校空手道新人大会	
男子団体組手 (5人制)	第4位
女子団体組手 (3人制)	優勝
女子団体形	第4位
男子個人組手	
-61kg級 岩永 一斗 (普2B)	第3位
-55kg級 青柳 旺道 (普1C)	第3位
-68kg級 平山 颯斗 (普1A)	第3位
+76kg級 岩永 惠蔵 (普1A)	第3位

【剣道部】

長崎県高等学校新人体育大会	
男子団体	第3位
女子団体	予選リーグ敗退

【卓球部】

長崎県高等学校新人体育大会	
男子学校対抗	優勝
男子個人ダブルス	
早野・酒匂	優勝
大久保・姿	第3位
川村・大見	ベスト8
男子個人シングルス	
早野 勇徠 (普2D)	第3位

【ボクシング部】

九州高等学校新人体育大会	
フライ級 Aパート	
武次 呂凜 (情2A)	1回戦敗退
ライトウェルター級 Aパート	
盛山 彰人 (機2B)	1回戦敗退
ピン級 Bパート	
久保 慶翔 (普1C)	第3位

【エイサー・和太鼓部】

第22回郷土芸能発表大会	
郷土芸能部門 (エイサー)	銀賞
郷土芸能部門 (和太鼓)	金賞
全国総文祭出場決定!!	



【美術部】

長崎市民美術展 洋画部門	
入選	高見 俊太 (機3B)

【写真部】

長崎市民美術展 写真部門	
4点入選	久保田 諒 (機2A)

12月の主な行事

12月	4日	創立100周年記念事業 芸術鑑賞会
	6日	P T A進路研修会
	10日	進路ガイダンス②
	11日	インターンシップ (情2) (~13日)
	12日	体育コース発表会
	17日	文化講演会
	18日	終業式
	19日	学習補充指導 (~20日)
		冬季補習 (~24日)